

## 第 134 回日本育種学会講演会 ランチョンセミナー

- ・ 日時: 平成 30 年 9 月 23 日 (日) 12:00-13:00
- ・ 場所: 岡山大学津島キャンパス 一般教育棟 3 階 B33 教室
- ・ 後援: 男女共同参画学協会連絡会
- ・ 講演タイトル・演者:

「岡山大学における男女共同参画の取り組み」

今村維克氏 (岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室室長)

「出産に伴う研究テーマの変遷と研究費」

宮崎祐子氏 (岡山大学大学院環境生命科学研究科, WTT2 期生)

「研究生活最初の 12 年間で過ごしてみよう」

山本ゆき氏 (岡山大学大学院環境生命科学研究科, WTT3 期生)

「岡山大学ウーマンテニュアトラック (WTT) 制教員からのメッセージ」

根本理子氏 (岡山大学大学院環境生命科学研究科, WTT6 期生)

### ・ セミナー概要:

当日は 20 名の学会員の出席があり、全体の約半数が 20-30 代の若手会員であり、また女性会員には特に若手率が高いという傾向もあり、働き方改革やキャリアパスの多様化等に対する若手会員の関心の高さを実感するセミナーとなりました。

一人目の演者の今村氏からは岡山大学におけるウーマンテニュアトラック (WTT) 制度の概要から採用の流れ、テニュア審査の経緯など、多くの出席者がこれまではっきりとは理解していなかったであろう制度の具体的な内容までをお話いただきました。続いて二人目の演者の宮崎氏からは、出産・育児等のライフイベントに応じて柔軟に研究テーマ、スタイルを変えるという方法もあるという話題、また見落としがちな競争的資金の使い勝手についての注意点などについてお話いただきました。三人目の演者の山本氏からは野生動物を対象とした興味深い研究経歴や、WTT 採用後のテーマ変更にまつわる苦悩やその際に救われたメンター制度を含む男女共同参画室の様々なバックアップ制度についてなどをお話いただきました。最後に四人目の演者である根本氏

からは、大部分の出席者が初めて耳にしたであろうバイオミネラリゼーション関連の珪藻のシリカ被殻形成やヒザラガイの超硬質歯（ジルコニアより硬い！）形成に関する興味深い研究成果についてお話いただきました。



写真：今村氏



写真：宮崎氏



写真：山本氏



写真：根本氏

出席者の皆様より質疑およびアンケートを通して多くの貴重な感想・意見が寄せられました。こうした学会員の意見をもとに、男女共同参画推進委員会ではより良い育種学会の実現を目指して活動して参ります。ご講演頂きました演者の皆様、およびご参加頂いた学会員の皆様に心から感謝申し上げます。



写真：セミナー中の様子